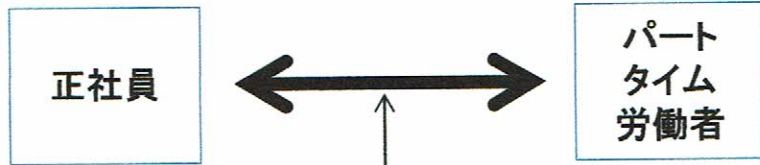


パターン①

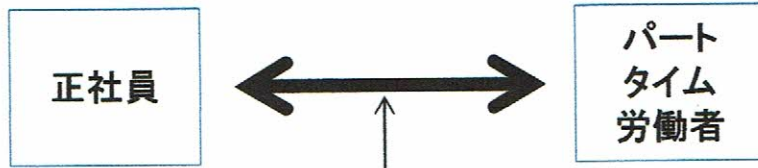


- ①仕事の内容が全く同じ就業時間が全く同じ
 - ②就業日数が全く同じ
 - ③責任の程度が全く同じ
 - ④人事異動の範囲が全く同じ
 - ⑤転勤の範囲(転勤される地域の範囲)が全く同じ
- 上記①～⑤の全ての内容が同じ場合



正社員とパートタイム労働者の賃金は同じでなければいけない
(これを“均等待遇”といいます)

パターン②

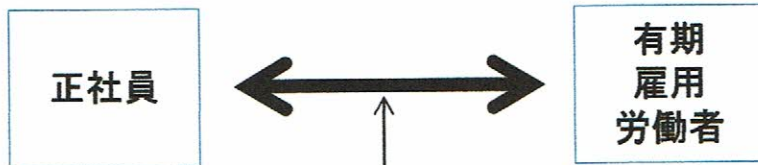


- 上記①～⑤の内容が少しでも違う場合



正社員とパートタイム労働者の賃金は①～⑤の内容の違いに応じて均衡を図らなければいけない
(これを“均衡待遇”といいます)

パターン③

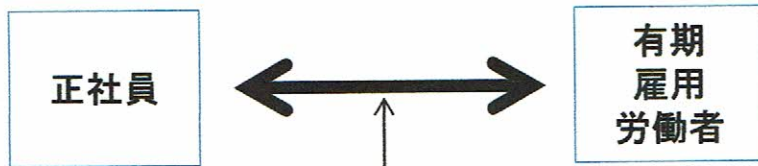


- ①仕事の内容が全く同じ就業時間が全く同じ
 - ②就業日数が全く同じ
 - ③責任の程度が全く同じ
 - ④人事異動の範囲が全く同じ
 - ⑤転勤の範囲(転勤される地域の範囲)が全く同じ
- 上記①～⑤の全ての内容が同じ場合



正社員と有期雇用労働者の賃金は同じでなければいけない
(これを“均等待遇”といいます)

パターン④



- 上記①～⑤の内容が少しでも違う場合



正社員と有期雇用労働者の賃金は①～⑤の内容の違いに応じて均衡を図らなければいけない
(これを“均衡待遇”といいます)